

2010年7月20日

# 知事選告示前

## 報告書（速報版）

（2010年7月10日～12日調査）

調査の設計	1
調査の概要	2



社団法人 長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610

<http://www.nagano-yoron.or.jp>

# I 調査の設計

## 調査の目的

長野県知事選挙は7月22日告示、8月8日投開票の日程で行われる。村井仁知事が1期4年で退任、新しい県知事を選択する選挙となる。

長野県は2000年以降、田中康夫県政6年、村井県政の4年に続き10年間で3人目の知事を迎える。戦後半世紀にわたり公選知事が林虎雄、西沢権一郎、吉村午良の3氏だけだったのに比べ短期間で代わることになる。

昨年夏の総選挙で歴史的な政権交代後、11日の参院選では政権党の民主党敗北という民意が揺れる状況の中、地方自治はどうあるべきか 県民の選択が問われる。

厳しさを増す財政や雇用、高齢化社会に長野県にはどのようなリーダーが望ましいか、そして今の県政をどのように見つめているのか、知事選告示を前に、県民世論の動向を探った。

## 調査の設計

調査対象	県内に住む20歳以上の男女800人
抽出方法	県内を東北中南の4地区に分け、さらに20代～70歳以上の6つの年代層・性に分割し“県下の有権者の縮図”となるように人数を比例配分して、各市・各郡の対象者数を設定。
調査方法	個別電話聞き取り・RDD(ランダム・デジット・ダイヤリング)法で実施。コンピューターで無作為に発生させてかける電話調査法で、電話帳に番号を載せていない人も調査できる。無作為に発生させた番号のうち、設定した年代・性の人を選び、目標の800人に達するまで抽出して聞き取りを行った。
調査地点	19市9町6村
調査時期	2010年7月10日～12日
有効回答	800人(男性 384人 女性416人)

<注> 報告書のパーセント数字は小数点第2位を四捨五入。合計が100にならない場合がある。  
政党支持のうち第6位(社民党)以降のデータは、有効回答数が少ないため参考値扱いとする。

## II 調査の概要

次期県知事として望ましい人物像は「調整・組織型」と「トップダウン型」が拮抗、村井県政の継承でも「継承してほしくない」と「継承してほしい」の意見が割れている。

新リーダーとして望ましい能力・資質を対照的に聞いた「行政の手法やバランスを大切にして、組織をまとめていくタイプ」(調整・組織型)と「自分の意見や個性を前面に出して、組織を引っ張っていくタイプ」(トップダウン型)は46%対48%とほとんど差がなかった。

現県政の継承でも「継承してほしくない」47%、「継承してほしい」が40%と意見が二分の形だった。

県政の課題では相変わらず「産業・雇用対策」を強く望んでいることがわかる。村井県政を総体では6割が評価しているものの、「産業・雇用対策」には6割以上が「評価しない」としている。次期県政に力を入れてほしい政策でも「産業・雇用対策」がトップだった。

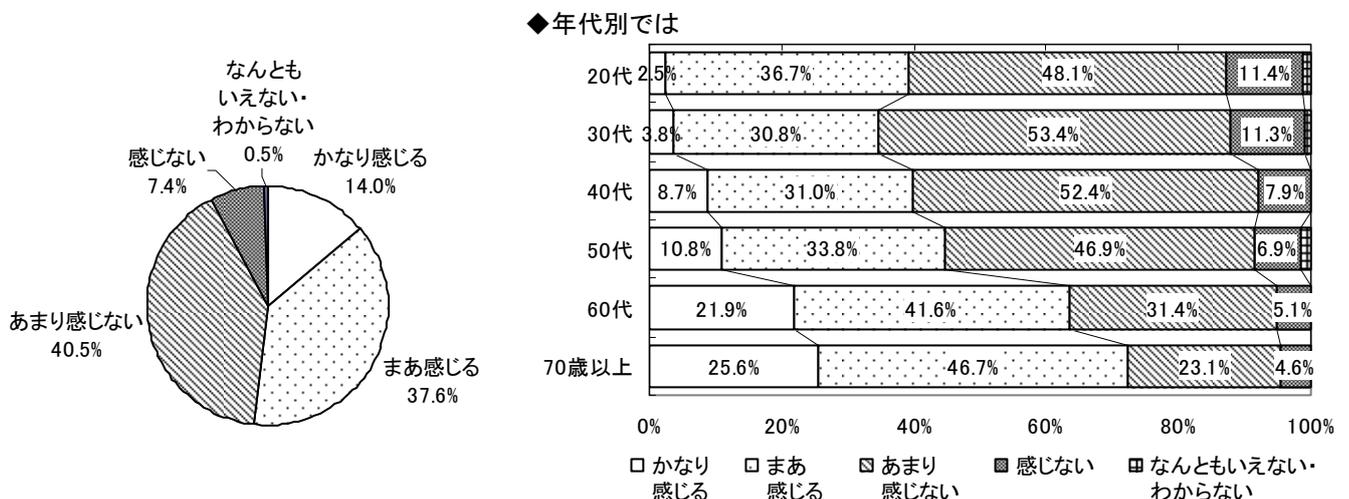
8月8日の知事選に「投票に行く」は総体で98%だが、「暮らしが良くなるため」に県政への期待度は市町村行政、国政より低い。

以下、調査結果を5ブロックに分けて紹介する。

### 1 村井県政の評価 (問1～3)

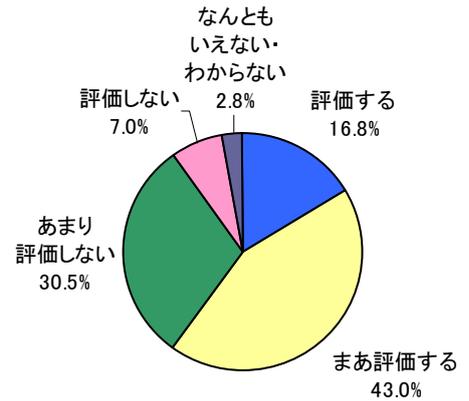
#### 「県政は身近」が過半数

県政を身近に感じるかどうかを聞いたところ、「かなり感じる」14%、「まあ感じる」38%と総体では52%だった。男女差はあまりないが、年代差は大きく20代～50代では「あまり感じない」「感じない」が総体で50%を超えている。職業別では現業系・サービス系従事者の親近感が低い。



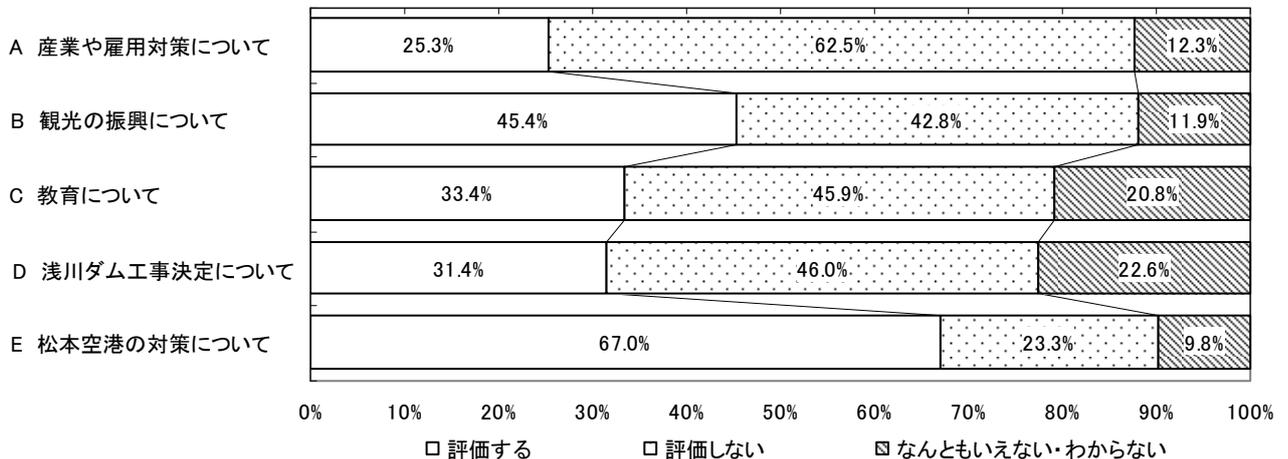
## 村井県政、全体では6割が評価

1期4年の村井県政を積極的評価が17%、「まあ評価」が43%。年代が高くなると評価も高くなる傾向がある。職業別では農・林・漁業が総体で76%の高い評価をしている。地域別では中信の積極的評価が2割を超えた。支持政党別では共産党を除き6割以上、自民党支持者は総体で8割を超える高い評価をしている。



		標本数	評価する	まあ評価する	あまり評価しない	評価しない	なんともいえない・わからない
支持政党	民主党	185	14.6	45.4	31.4	4.9	3.8
	自民党	109	35.8	45.9	11.0	6.4	0.9
	共産党	26	7.7	15.4	42.3	34.6	-
	みんなの党	25	24.0	44.0	32.0	-	-
	公明党	24	20.8	45.8	25.0	4.2	4.2
	社民党	13	15.4	61.5	23.1	-	-
	たちあがれ日本	3	-	100.0	-	-	-
	国民新党	2	-	100.0	-	-	-
	新党改革	2	-	50.0	50.0	-	-
	新党日本	1	-	-	100.0	-	-
	その他の政党・政治団体	1	-	100.0	-	-	-
	支持する政党はない	378	11.6	40.7	36.5	7.7	3.4
	言いたくない	31	29.0	48.4	19.4	3.2	-

## 【個別政策への評価】



「産業や雇用対策」 評価しない63%

男女、年代、職業、地域すべての階層で「評価しない」が「評価する」を大きく上回った。08年調査から同じ傾向が続くが、とりわけ50代、役員・管理職・自由業は「評価しない」が70%に達した。自民党支持者でも「評価する」は45%にとどまる。

「観光の振興」 評価は相半ば

08年からの県政調査と比較すると、今回はわずかながら「評価する」が「評価しない」を上回った。20代と40代、地域では北信と中信の評価が高く、東信と南信は低い。

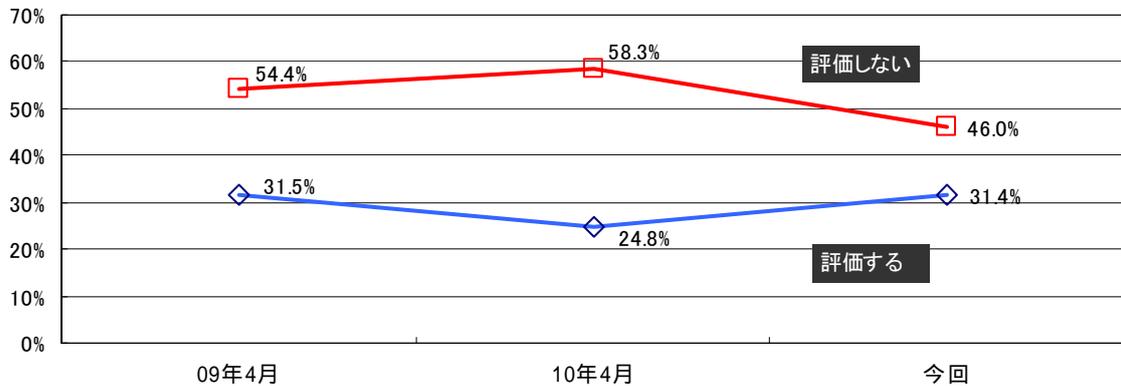
「教育」 評価しない46%

教育については全般的に、「評価しない」が「評価する」を上回る。年代別で20代、40代、職業別で役員・管理職・自由業、商工・自営業の辛い評価が目立つ。

「浅川ダム工事決定」 「評価しない」「評価する」の差が縮小

着工になった長野市の浅川ダムについて31%が評価。4月の県政調査と比べるとやや増え、「評価しない」の46%は総体で12%ダウンした。性別では男性の50%が「評価しない」としており、女性より8%高い。自民党と公明党、みんなの党支持者はほぼ半数が評価している。

◆「浅川ダム」の推移

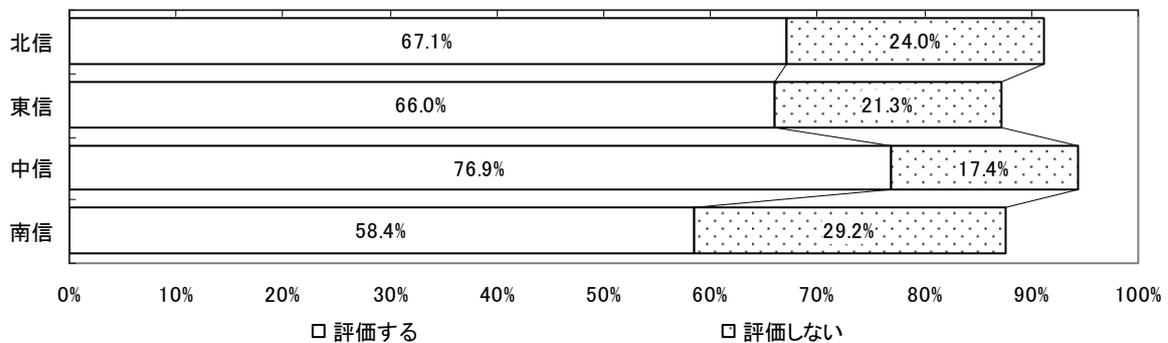


注：09年4月、10年4月は「評価する」「まあ評価する」、「まったく評価しない」「あまり評価しない」の総体

「松本空港対策」 中信の評価が高く

6月からF D A就航となった松本空港対策は67%が評価、「評価しない」を40%以上上回った。全階層を通してほぼ6割以上で、とりわけ中信は77%が評価している。

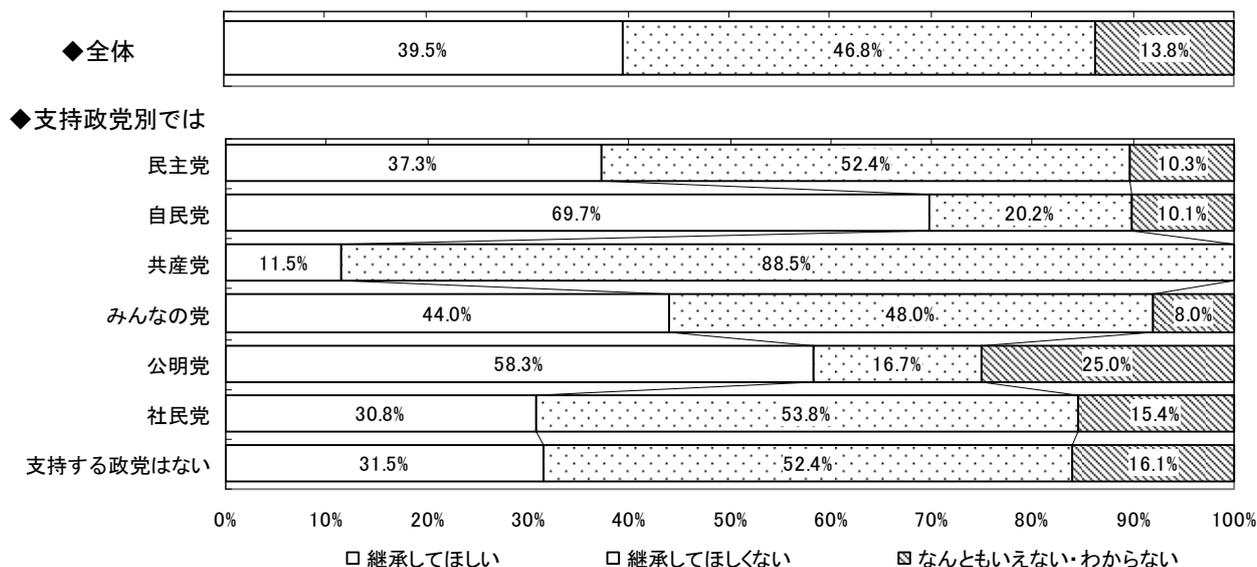
◆地域別では



## 2 次期知事像 (問4～5)

### 村井県政の継承 「望む」「望まない」は意見が割れる

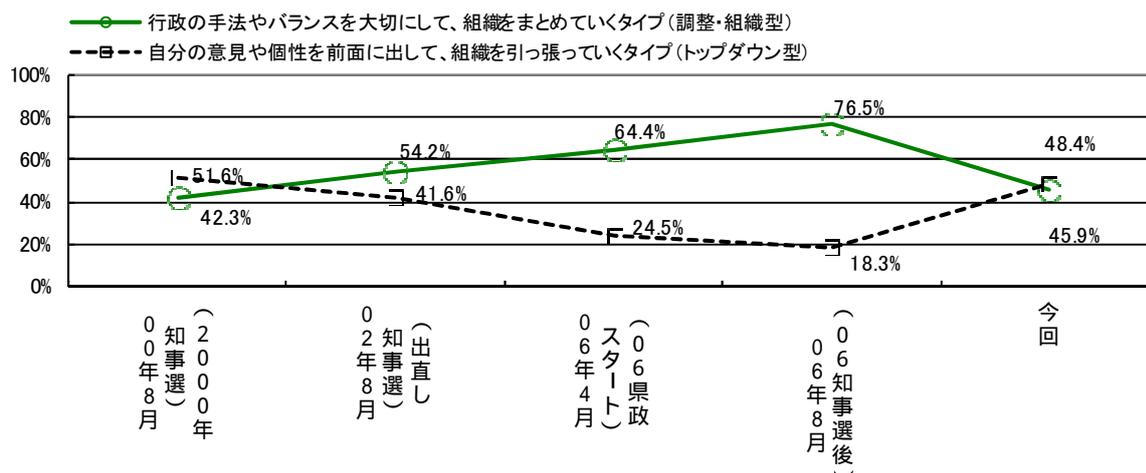
新しい知事に村井県政を「継承してほしい」が40%、「継承してほしくない」が47%だった。男性は「継承してほしくない」が50%で女性より高め。年代別では20代～60代までは「継承してほしくない」が上位、職業別では継承を望むのは農・林・漁業と無職層。地域では中信が「継承」優位だが、ほかの北信・東信・南信は「継承してほしくない」人が多い。支持政党別では自民党の70%、公明党の58%が継承を望んでいる。



### 望ましい能力・資質 「トップダウン型」と「調整・組織型」が拮抗

「自分の意見や個性(理念)を前面に出して、組織を引っ張っていくタイプ」(トップダウン型)48%、「行政の手法やバランスを大切にして(意見を調整)組織をまとめていくタイプ」(調整・組織型)46%と両者が拮抗している。男性は前者(53%)女性後(50%)が優勢で男女逆転の結果となった。支持政党でみると民主党、公明党、共産党、みんなの党は「トップダウン型」を、自民党、社民党は「調整・組織型」を望んでいる。

田中・村井知事時代の調査との比較では、両者が再び接近してきていることがわかる。

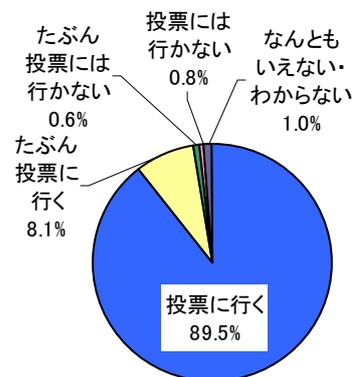


### 3 知事選への関心度 (問6～7)

#### 投票行動 「投票に行く」が総体で98%

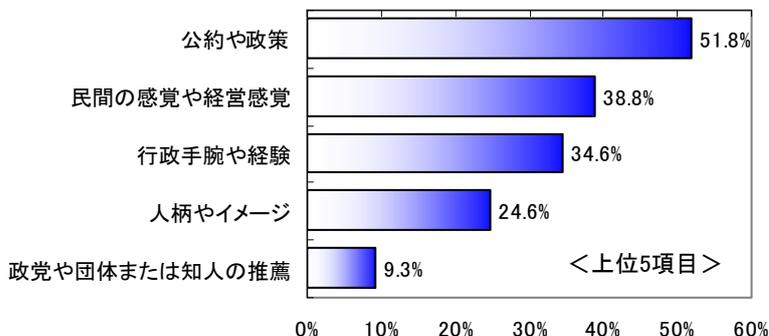
8月8日の投票行動は「投票に行く」90%、「たぶん投票に行く」が8%だった。ただ自分の暮らしに直結するかどうかを聞いた問11の「暮らしが良くなるために」の質問では、県政への期待度は市町村行政、国政より低い。

投票志向への高さが前回の06年8月、村井仁氏、田中康夫氏で争った投票率65.98%を上回る行動につながるか、注目される。



#### 何を重視して投票するか 「公約や政策」がトップ

選択の基準に2つ選んでもらった中では「公約や政策」「民間の感覚や経営感覚」「行政手腕や経験」がトップ3。1位の「公約や政策」は各階層を通じて共通だが、「民間感覚」と「行政手腕」の重視では違いが見られる。50代までは「民間・経営感覚」、60代以上は「行政手腕・経験」を優先。支持政党別でも自民党と社民党は行政手腕を重視しており、問5で聞いた「トップダウン型」と「調整・組織型」の選択とほぼ同様の傾向だ。



性別	年齢	標本数	公約や政策	民間の感覚や経営感覚	行政手腕や経験	人柄やイメージ	政党や団体または知人の推薦	個性や力	県庁組織を生かす	その他	わからない・わ
男性	20代	384	52.3	37.0	32.8	24.0	9.4	4.7	6.0	0.8	2.3
	30代	416	51.2	40.4	36.3	25.2	9.1	6.0	4.1	0.5	2.2
女性	20代	79	60.8	49.4	22.8	24.1	6.3	3.8	3.8	-	2.5
	30代	133	54.1	51.1	26.3	24.8	12.8	4.5	3.8	0.8	1.5
	40代	126	58.7	47.6	30.2	21.4	7.1	6.3	3.2	0.8	0.8
	50代	130	47.7	43.1	40.8	21.5	7.7	6.9	8.5	-	0.8
	60代	137	51.1	30.7	39.4	25.5	9.5	2.2	8.8	2.2	2.2
	70歳以上	195	45.1	23.1	40.5	28.2	10.3	7.2	2.6	-	4.6